

平成28年6月発行 発行者 砺波カイニョ倶楽部 代表幹事 出村 忍
事務局 富山県砺波市表町 14-10 電話 0763-33-6588 天野一男建築工房内

■総会資料■

・平成27年度事業報告

- 5月30日 総会 (旧中嶋家)
- 5月30日 講演会 講演者：中島利明氏 (元北日本新聞社常務コラムニスト) 演題：「あしたの森といのち」
- 7月15日 自由民主党政務調査会 観光立国調査会「屋敷林・散居村・生け垣等の地域景観資源の保存・活用に関するワーキングチーム」のヒヤリングに出席 (党本部にて)
- 7月18日 屋敷林見学会 (滑川の中屋宅、山下宅、松井宅。20名参加)
- 8月22日 カイニョ剪定講習会 (散居村ミュージアム。7名参加)
- 11月21日 カイニョの間引きと剪定と植樹 砺波市苗加の上銘宅 (9名参加)
- 11月25日 「うるおい環境とやま賞の「光の賞」」を受賞

平成28年

- 4月2日 カイニョの掃除 (砺波市秋元M宅 10名参加)

平成27年度 砺波カイニョ倶楽部決算書
平成27年5月1日～平成28年4月30日

収入					
項目	金額	内訳	備考	日付	請求番号
会費	118,000	74,000	郵便局振込		
		44,000	現金		
寄付	15,500	10,000	小泉由和様より		
		5,500	本販売費		
利子	33	33	県信出町支店		
行事会費	81,500	81,500	滑川見学会旅費		
繰越金	207,347	207,347	前年度繰越金		
収入合計	422,380				
支出					
項目	金額	内訳	備考	日付	内訳別紙
総会費	8,971	8,971			内訳別紙
行事費	103,076	78,163	滑川見学	7月18日 20名	内訳別紙
		918	ヒヤリング費用		内訳別紙
		2,800	富山賞		内訳別紙
		16,686	植樹	11月21日 9名	内訳別紙
		4,509	掃除	4月2日 10名	内訳別紙
		103,076			
補助金	0				
通信費	47,512				内訳別紙
雑費	48,222				内訳別紙
事務費	10,000				内訳別紙
合計	217,781				
収入合計	422,380	支出合計	217,781	差引残高	204,599

会計監査報告

平成28年5月9日に会計監査をしたところ、適切に処理されていたことをご報告致します。

監事 中田 千鶴子

・平成28年度事業計画 (案)

基本テーマ「市民と共にカイニョに学ぼう」 住民へ行事参加者を募集する

1. 総会 (平成28年5月22日・旧中嶋家にて)
2. 立山弥陀ヶ原の杉の大木見学
3. カイニョ見学会
4. 樹木の手入れの実習 (ミュージアムの樹木などを活用)
5. カイニョの掃除 (住民へ掃除希望宅を募集)
6. カイニョとのつき合い講座 (中嶋家のイロリを囲んで)
7. 植樹

*** 平成28年度総会を開催 ***

◎クラブ活動のこれからの12名が発言

5月22日(日)午後1時30分からチューリップ公園内の旧中嶋家で囲炉裏を囲み、17名が参加して、総会を開催した。

出村忍代表幹事が、「いろいろ体をかけて飛び歩いた1年だった。自由民主党本部政務調査会の観光立国調査会、屋敷林・散居村・生垣等の地域景観資源の保存・活用に関するワーキングチームに招かれ天野事務局長と上京し、砺波散居村とカイニョのことを市長とともに説明する機会があった。活動の方向性を位置づけるもので注目していきたい。これからも地道な取り組みをみんなで続けていこう」と挨拶した。

平成27年度活動報告を天野一男事務局長から、会計報告を高畑邦男幹事から報告し、監事の監査報告があり、全員が承認した。平成28年度は「市民と共にカイニョに学ぼう」を基本テーマに、事業計画として立山巨木スギと天然林見学会など7項目の活動を提案し、全員が承認した。会員から「干し柿シンポ」を開く案内があった。

この後、天野一男事務局長から「カイニョを愛する人づくり…カイニョを残す・増やす」と題して問題提起があり、約2時間余り12名が発言し活発に意見交換した。これからの倶楽部活動に対する重みのあるヒントがたくさん出された。

4時過ぎに日程終了した。この模様は、後日、富山新聞と北日本新聞が報道した。また、ダスキン広報誌チームも取材し、全国ネットに載せられることになった(8月中旬発行予定)。

◎活動18年目を迎えての提起

・・・天野一男事務局長の発言要旨

「カイニョを愛する人づくり …カイニョを残す・増やす」

カイニョを愛する人づくりをテーマに取り組んできた。大した成果は見られず、カイニョ否定の人とその姿が目立つのみ。活動は、内外から注目され、昨年はうるおい環境とやま賞、先に富山県功労賞、地方自治法施行60周年記念総務大臣賞、第54回富山県農村文化賞、北日本新聞社地域社会賞などたくさんの評価を受けた。

カイニョと共生する砺波平野人の人間形成・・・新しいカイニョの役割や必要性を提起した。同時に共生するために、落ち葉問題ではペレット化の提案、風倒木対策で植樹種の組み合わせ、樹芯を落とし枝間引き等の技術面を含めて提案。

カイニョは「残したい」それでも「残らない」危機・・・住民は、安くて便利で手間をかけない道を求める。カイニョの利便を感じない。散居とカイニョを残すには、個人では残らない。法律(ルール)で縛るしかない。米づくり特区にして「世界遺産米」で売り出す道を考えている。「遺産」は目的ではなく、手段。17年間 下からアタックしてきたが成果はなかった。上からのしほり；政治の力で、農業=米生産で生きる砺波平野をつくる道を提案したい。

KNB制作『カイニョのある暮らし』のビデオを全戸配布し、刺激しあう。砺波平野のような散居村は、世界にあるのか？住民は、今いる現状のすごさに気づくこと、気づかせることも大事ではないか。

・・・うら面に続く・・・

◎風致美学、百年の樹を残す、枝葉処理、空き家、民泊、特区、交流、理想的住まい…

天野事務局長の提起を受けて、参加者から思いや意見を出しあった。12名が発言した。倶楽部として、どう受け止め、発展させ、形にし、会員の参加や、市民全体への響きにつなげるのか?!…新しく大きな問題と楽しみを抱え込んだ総会論議となった。

主な発言は、…

- 今 市民が困っている枝葉処理、倒木などに、もっと行政が応え、施設や手当面等の対応がほしい。枝打ち、処理、回収などを自治会やボランティア団体等が行う場合の処理費用の無料化を要望する。チップ化も実践されているが、普及策を。残せ!!なら面倒見て。
- 高齢者、空き家の対応を急がねば。グリーンツーリズムなど他地域との連携も重要。
- 砺波市で民泊の受け入れ体制の糸口があるのか。修学旅行や大学ゼミ合宿の受け入れ。
- この20年間で行政は変わったが、住民は全く変わっていない。さめている。しかし、周りからは「散居村とカイニョ」の存在に、大きな期待と注目が寄せられている。環境、景観、観光といった視点で、カイニョは個人の財産であること以上に、地域全体の資源だ。地球規模の価値に、外国人も注視している。住民個人の意識改革。
- 「世界遺産米」というが、農業者がいなくなっているのは形にならぬ。百姓をやれる特区は緊急課題。しかし、各個人は、どう考えているのか。集落営農や法人でよいか。世論喚起。
- カイニョは、「風致美学」としてとらえる。屋敷の中には、450種の草木が、人と一緒に生きている。いいものでないと残せない、残らない=美学。雑草といえども美がある。
- ローソク型のスギは淋しく、いたいたしい。スギの美しさが無い。人が感動しない。
- 屋敷林の防風効果はバツグン。…過日(4月17日・5月3日)の大風でもその効果は、たくさん確認できた。屋敷林を守るなら、スギとケヤキの混成林が倒木しにくく一番良い。
- 砺波のカイニョと言わず、富山方面も含めたカイニョエリアの維持保全を考えよう。月岡などは、すばらしい。自助・共助・公助で団地市民等も招き入れ公共財産として保全活動。
- 各家に、100年の樹を残すことにこだわっている。この地域の形態は、「すごく素晴らしいもので、大いに誇れる資産だ!!」ということと、学者、建築家、設計者、土木事業者などの専門家集団が認識して意見として述べ、市全体の方針に反映していく時だ。自覚を。
- 散居村サミットがあるが、市民交流がない。これは、おかしなことだ。
- 散居とアズマダチの特区として、シジミ、ドジョウ、ホタルなどの地域もつくり、景観スポット、散策コース等もおおいにつくり、楽しい地域を提供しよう。学校や地域と連携。
- カイニョと一緒にあるがための苦言葛藤は、家族の間からも出て続く。落ち葉掃除は毎日のことと、大変なことだ。残したいが、残らない。不自由をぜいたくにする特区。
- 納屋を改造して「いこいの場」「たまり場」にしている。砺波人は、人を家に泊めたがらない、家に入れたがらない風潮がある。やれる者から、民泊等に開放していくことだ。
- 空き家をどう生かすか、課題だ。コミュニティがない都会から助け合いの田舎に移住も。
- 全政党に、こうしたカイニョと生きる生の声や悩みも提起し、全体に広げることと考えてほしい。経済効率だけでない人口減対策が課題。国、県、市での取り組みに期待。
- 外から見ると、砺波は生態系が守られているし、実に理想的な住まいに見える。おおいに宣伝したい地域だ。利雪、親雪、克雪のように、成功事例を一つずつ積み上げていく。

<予告!!>

…詳細は、今回同封の別紙お知らせをご覧ください。みなさまご参加を!!

第34回富山風雪賞受賞記念 新藤正夫先生を囲み講話を聴く会

当倶楽部会員の新藤正夫先生が、富山新聞社の「富山風雪賞」を受賞されました。これを記念して、関係者が相集い新藤先生を囲んで、その業績の一端を伺います。

◇とき **7月23日(土) 午後2:00~5:00**(2:00から講話。のち3:30ころから茶席)

◇ところ **神田家** 砺波市本町3-14

会場は、出町街中の旧家の蔵の戸前。お庭拝見して茶室座敷で一服。お楽しみに!!

◇参加費 お一人様 茶席含み **1,500円** (当日受付でお支払い願います。)

◇主催 当倶楽部を含む関係者による“実行委員会”

◇参加申し込みは、**7月11日(月)まで**、砺波散居村ミュージアムあて、Fax、又は電話で。



<今年度事業 第1弾>「スギ・ブナの巨木天然林見学会」…同封の別紙案内

◇立山スギの天然林を、解説付きで散策。500年~1100年の巨木。明治40年植林の富山県で一番古いスギの人工林も残る。アルペンルート沿い最高部1,910mに生息するスギ。熊の皮はぎの跡。人間のはぎ取り行為の跡も。安政の大地震の発生地とその爪あと「西大森の大石」。その地震と月岡神社の「センノキ」…柏樹直樹さんの詳細解説があります。

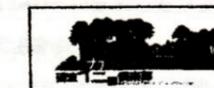
◇とき **7月31日(日)** 集合・出発7:30~帰着17:00

◇見学地 ①弥陀ヶ原 ②立山スギ巨木の天然林・人工林 ③西大森の大石 ④月岡神社社叢

◇参加費 **会員5,000円** 非会員5,500円

◇申し込みの締め切りは、**7月15日(金)**。ただし、定員になり次第締め切ります。

…ほか詳細は、今回同封の別紙「見学会」のお知らせをご覧ください。



<今年度の事業>「カイニョの掃除」希望のお宅を募集しています。

◇お近くに、又はお知り合いのお宅等で、「カイニョの掃除」に適したお宅がありましたら、連絡ください。現地調査のうえ、候補として検討します。